



家庭教育支援を行う人のための

親学 プログラム

島根県立東部・西部社会教育研修センターで開発した「親学プログラム」は、地域における子育て支援・家庭教育支援に活用できる学習プログラムです。

この「親学プログラム」をきっかけとして、親（保護者）同士のつながりや学校・家庭・地域とのネットワークが深まり、新たな活動への輪が広がることが期待できます。



気づきを
大切にする

みんなで
楽しく
語り合う

親同士が
つながる

松江市のやくも子育てサロン「星キラくらぶ」

「親学プログラム」とは・・・



「親学プログラム」は、島根県内各地で子育て支援や家庭教育支援を行う人（※1）が、乳幼児をもつ親（保護者）や小・中学生をもつ親（保護者）を対象とした学習機会において、親としての役割や子どもとの関わり方の気づきを促すために作成しました。

この「親学プログラム」は、子育てについて一つの答えを求めたり、家庭における正しい子育て方法を指導したりするマニュアルではありません。

参加型学習（※2）の手法を用いて、参加者同士が交流しながら、親としての役割や子どもとのかわり方について、気づきを促すことをねらいとする学習プログラムです。

（※1） 保育所、幼稚園、小・中学校等の教職員やPTA役員、公民館等社会教育関係者、子育て支援センター職員等を想定しています。

（※2） 参加型学習とは、受講者が単に受け手や聞き手としてではなく、自ら気づき考えることを重視する学習方法のことです。

子育てについて、楽しく語り合うことができます！

参加者同士が、子育てについて楽しく話し合ったり、今までの子育てについて振り返って考えたりできるプログラムです。

参加者の声

普段、親の価値観だけで子育てをしているので不安もあります。このワークを通して、たくさんの人と子育てについて話し合うことによって、違う価値観に触れたことが良かったです。



グループの皆さんに受け入れてもらい、多くの人たちと関わる面白さを実感した研修会でした。このような会を定期的に受けることができればいいなあと思いました。



日頃よく会うメンバーですが、具体的な子育てに対する悩みや不安を話す機会がなかなかないので、有意義な場でした。

みんなが同じような体験をして、同じように悩んでいるということが分かるだけで、少し気持ちも楽になり、また、毎日をがんばれるような気がします。楽しく子育てしていきます!!



気軽に進行できる! プログラム活用3点セット

「親学プログラム」は子育て支援・家庭教育支援を行う人が気軽に進行できるように、1つ1つの学習プログラムが①進行表(学習の流れ)②進行マニュアル(ワークショップのシナリオ)③ワークシート(参加者へ配付する用紙)の3点セットでできています。

進行表

進行マニュアル

ワークシート

2-③ 私のほめ方・しかり方

■対象：乳児～小学校低学年の親

学習のねらい 子どもに対するほめ方を通して、場や準備するもの 筆記用具 ワークシート

時間	学習の流れ
	●【はじめに】 今日は、子どもをほめる時 よいが、みなさんと考えてみ 体をリラックスさせましょう
10分	●【アイスブレイク】 ①たましいの握手 (P.97) ②自己紹介
40分	●【ワークショップ】 ①ワーク1を記入する ②ペアになり、お互いと言 ③感想を話し合う ④グループで話し合う ・グループ内での紹介 ・より効果的な伝え方 ⑤グループごとに発表する

2-③ 私のほめ方・しかり方

①ワーク1を記入する (10分)

ワークシ
ー
ます。
あなたなら
ますか? 自

②ペアになり、お互いと言ってみる

今書いた台詞をもとに、子ども
ましよう。2人で場面を想定し、
ください。

③感想を話し合う (3分)

どうでし
今の台詞
しよう。

④グループで話し合う (13分)

近くの2つのペアで4人ぐ
他の方はどんな言い方を考
てください。そして、子ども
いて話し合ってください。後
で、グループ全員で台詞を

2-③ 「私のほめ方・しかり方」ワークシート

ワーク1 こんな時、あなたならどう言いますか。

①近所の人に、「こんにちは」や「ありがとう」がはっきりと見え

【子ども役】 ※場面を想定してから
(例)・〇〇さん、「こんにちは!」
・〇〇さん、「ありがとうございます」

【親役】

②自分からすすんで、きちんとおもちゃの片づけができたとき

【子ども役】 ※場面を想定してから
(例)・「よいしょっと、やった〜!」
これできれいに片付いた〜

【親役】

③いっしょにあそんでいる友だちをたたいたとき

【子ども役】 ※場面を想定してから
(例)・「僕(私)が先に使ってたのに。
もう〜っ、(バチン!)」

【親役】

流れが一目で
分かります

セリフを読んで
進行できます

コピーしてすぐに
使えます

「親学プログラム」の活用か

浜田市立
岡見公民館



県立
青少年の家



県立
少年自然の家



プログラムの一例を紹介します!

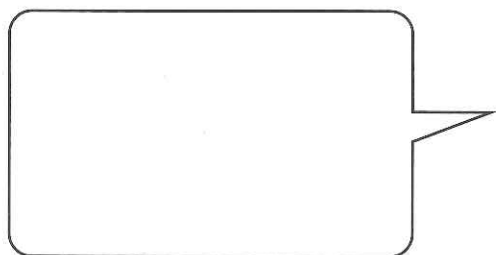
テーマ2：親子のコミュニケーション

2-③「私のほめ方・しかり方」

子どもたちをほめる時やしかる時に、どんなことに気をつければよいか考えてみましょう。
こんな時、あなたならどう言いますか?

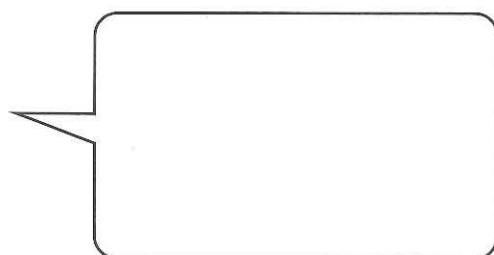
A

自分からすすんで、きちんと
おもちゃの片づけができたとき



B

安全確認をしないで、
道路に飛び出したとき



※良いことをした時はしっかりとほめ、しかる時には感情にまかせず、受け止める子どもの立場になって考え、想いを理解することが大切です。「そう言われたら子どもはどう感じるだろうか」「子どもはどう受け止めるだろうか」、まずはここから考えてみましょう!

Point

ロールプレイ（役割演技）の手法により、ほめる場面・しかる場面を二人組で進めていきます。親子それぞれの立場になって、感じたことを話し合います。場や状況に適した効果的な伝え方を考えましょう。

が県内各地で広まっています

松江市宍道
子育て支援
センター



隠岐の島町立
西郷中学校
PTA研修



邑南町
保育所
保護者会



親学プログラムは 7つのテーマで構成されています!

1 親としての心構え

- ①新米ママ・パパへのメッセージ
- ②あなたならどうする?
- ③子どもに示したい大人のふるまい
- ④素晴らしい思春期



2 親子のコミュニケーション

- ①聞く耳ってどんな耳?
- ②子どもに伝えるのが難しい!
- ③私のほめ方・しかり方
- ④心に響く伝え方

3 生活リズム

- ①目指せ!早寝・早起き・朝ご飯
- ②朝食は目覚めのスイッチ

4 しつけとルール

- ①親のしつけは子どもへの大切な贈り物
- ②我が家のルールづくり大作戦!
- ③しかる基準は?
- ④誰が決めるの?
- ⑤子どもにとってのお手伝い
- ⑥子どもに本当に必要ですか?
- ⑦家庭学習の習慣をつけるために
- ⑧ケータイ・インターネットとのつきあい方

5 安全と健康

- ①身近なところに危険がいっぱい
- ②危険箇所を考えよう
- ③食生活を見直そう

6 遊びと体験

- ①あそびのススメ
- ②子どもにさせたい体験は?

7 個性と夢

- ①もし、子どもが○○で育ったら
- ②こんな子どもに育ってほしい
- ③わが子のPR～短所も長所～



7つのテーマごとに各種のプログラムを用意しています。
どのプログラムを活用するかは、学習目的や対象となる子どもの年齢、
参加する親（保護者）の実態に応じて選択してください。

